

平成25年度 第1回 佐倉市立美術館運営協議会

議事録

日 時：平成25年5月19日（日） 14：30～16：30

場 所：佐倉市立美術館 4階会議室

出席者：以下のとおり

(委 員 8名)

大久保委員、加藤委員、齊藤委員、田中委員、豊田委員、樋田委員、
広本委員、村田委員

(美術館職員 6名)

前川館長、清宮主査、木邨学芸員、永山学芸員、山本主事、流主査補

会議次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 会長・副会長の選出
4. 報告事項
 - (1) 平成25年度人事異動について（公開）
 - (2) 平成24年度事業報告について（公開）
 - (3) 平成25年度事業について（公開）
5. 協議事項
 - ・作品の受け入れについて（非公開）
6. その他
7. 閉 会
 - ・展覧会鑑賞

【2. あいさつ】

<館長よりあいさつ>

【3. 会長・副会長の選出】

・前任期に引き続き、会長に樋田委員、副会長に齊藤委員を選出した。

【4. 報告事項】

(1) 平成25年度人事異動について

<館長より説明>

(2) 平成24年度事業報告について(資料2～4頁)

<事務局より説明>

(委員)長嶋茂雄写真展のときの、入場者数を教えてください。

(美術館)その時期に開催していた収蔵作品展、全体の入場者が3,752人です。長嶋茂雄写真展を行っていた5日間だけで1,488名です。通常、1日平均113名ぐらいですが、この5日間に限っては300名近い方が入場されています。長嶋茂雄写真展を開催した10日間の館全体の入館者数は、5,818名でした。

なお、5月17日から、臼井公民館で同じ展覧会を開催しています。

(委員)この長嶋茂雄写真展は、館の企画の中には入れないのですか。

(美術館)生涯スポーツ課が実施したもので、美術館は、場所の提供のみとなっております。

(委員)長嶋茂雄写真展は、何年か前に公民館で、開催したと思いますが…。

(美術館)過去に美術館のエントランスでも行っています。大体、同じものを展示しています。

(3) 平成25年度事業について(資料5頁)

<事務局より説明>

(委員)有料と無料の展覧会の区別は、どのように決めているのですか。

(美術館)区別は厳密にはないのですが、比較的予算がかかっているものについては、有料と考えています。ただ、予算の要求の仕方が違っております。

(委員)小中学校との連携のなかで、職場体験というのは、具体的にはどういうことですか。

(美術館)特に中学校において、職場体験を積極的に取り組んでおり、美術館だけでなく、例えば、町の中の店舗などでも学んでいます。キャリア教育、つまり、将来いろいろな職業に就くための、社会見学です。

(委員)アートプロジェクト「ブロックで城下町を作る」は、どれぐらいの参加者だったのでしょうか。

(美術館)15組で45名、参加しています。ご家族での参加が多いようです。大体、1グループ3名平均です。ブロックの数がそれほど多くないもので、作って完成したら、写真を撮って分解してしまいます。最終的には写真展という形で、ご報告しています。

(委員)インターンシップの受け入れについて、内容的には、どういうことをやっているのでしょうか。

(美術館)高校生については、中学生の職場体験と、実態はあまり変わりはありません。ただ、高校生ですので、仕事を任せるようにしています。展覧会のガイドブックの制作や、受付の体験など、高校生なりの見方や意見を報告してもらっています。

大学院生につきましては、資料の整理に携わってもらったり、ルパン三世展のワークショップの企画に加わってもらったりといった、関わり方をしていました。

(委員)アートプロジェクトのことについて、お聞きします。昨年同様、ブロックを使用して城をつくる、ということですが、場所は、美術館の中ですか。

(美術館)展示室の中で行っています。

(委員)その時、展示室がうまく空いていれば、いいのでしょうか、例えば、駐車場などは使えないでしょうか。

(美術館)季節によると思います。それも考えてはいますが、あとはエントランスです。エントランスで作って、その場に展示するというのも、面白いと思っております。

(委員)アートプロジェクトというと、美術館から外へ出て、例えば田んぼの中でやるとか、町とのかかわりなど、館から出てもいいかなと思います。

(美術館)ここ3年ぐらいは、館内での実施になっておりますが、その前は、外での実施でした。

(委員)また是非、外に出ていただきたいです。城を出るという考えもいいのではないかと思います。

(委員)インターンシップで高校生が来ていますが、何科の生徒ですか。

(美術館)普通科の生徒です。美術館を応募したそうです。

(委員)出前授業の対象は小中高、全般ですか。

(美術館)小中学校に呼びかけています。内容としては、佐倉ゆかりの作家に関する説明や、その周辺の授業になります。ただ、最近、あまり出前授業は行われておりません。総合の時間が取れないとか、学校のスケジュールで目一杯というお話も伺います。毎年5月に、図工美術の先生たちが集まる機会があるので、その時にアピールはしていますが、押し付けることもできませんので、先方からの希望をきいてという状況です。小学校については、図工美術を専門にしている先生が少なくなっています。中学校でも、今は美術の時間が非常に少なくなっています。そういった影響からか、イベントをやるので、学校に来てワークショップをやってほしいという話がありますが、授業を助けてほしいという話は、最近あまりありません。

(委員)市内の中学校で、専任の美術教師がいる学校はどれぐらいですか。

(美術館)中学校は、ほとんどいると思います。

(委員)高校は、どうですか。

(美術館)高校までは把握していませんが、高校も原則的には、いるはずです。

(委員)千葉県は、たくさんいる方です。ほとんどいない県もあるようです。ある県では少しはいるが、本当に数えるほどしかいない。中学校も全部の学校には、いないようです。授業はあるけど、非常勤が来て担当しています。

(委員)企画展の「トスカーナと近代絵画」、「国立美術館巡回展」は有料ということで、お金をかけて展覧会をなさるわけなので、大勢の方に来ていただきたいと思います。どのような広報を予定していますか。

(美術館)予算化されているのは、駅貼り、車内吊り、それと、美術新聞や雑誌等への掲載です。これら以外には、プレスリリースなどをして、PRをしていく予定です。

(委員)昨年度は、ルパン三世展が1万人を超えていますけれど、例えばトスカーナと近代絵画では、どれぐらいの入場者数を予測していますか。

(美術館)4~5千ぐらいかと予想しています。国立美術館巡回展は3~4千ぐらいだと思います。トスカーナと近代絵画は、当館に巡回してくる前の会場の入り方により、多少影響があると思います。国立美術館巡回展は、京都の国立近代美術館の収蔵品が中心になりますが、東京国立近代美術館の作品もありますので、東西の洋画の流れといったものが、わかるようにしたいと思っております。また、本館のみ京都国立近代美術館の浅井と弟子たちの作品をすべて借用し、当館のコレクションも入れて、一緒に展示できることになりました。非常に良い展覧会になるのではと思っております。

(委員)であればこそ、こちらの浅井忠をはじめとするコレクションと、京都国立近代美術館のコレクションが一緒に見られるという、非常に内容のいい展示に

なるので、できるだけ多くの方に見ていただけるように、広報を頑張っていた
だきたいと思います。

(委員)トスカーナと近代絵画展ですが、世間的に言うと、フィレンツェというの
をメインに表示した方が、展覧会のイメージが、判りやすいと思います。トス
カーナと言っても、一般の方には周知されていないかもしれない。

(美術館)正式名称は、今のご意見をふまえて検討したいと思います。

(委員)国立美術館巡回展というのも、少し軽い感じがします。京都国立近代美術
館の名宝展とか、そういう言い方はダメでしょうか。

(美術館)これは国の独立行政法人の企画する展覧会ですので、国立美術館巡回展
という名称は、必ず入れてほしいということです。

(委員)関東の方からすると、京都というのは、とても印象がいいと思います。ぜ
ひ、京都国立近代美術館を前面に出してください。

【協議事項】

- ・作品の受け入れについて（非公開）

<寄贈作品について、学芸員による説明のあと、委員が作品を観覧、協議>

(会長)それでは伺います。この2点について、寄贈を受け入れてよろしいかど
うか。

よろしいですね。それではこの2点について、寄贈を受け入れることといたし
ます。

それでは、議事はここまでとなります。

【閉 会】